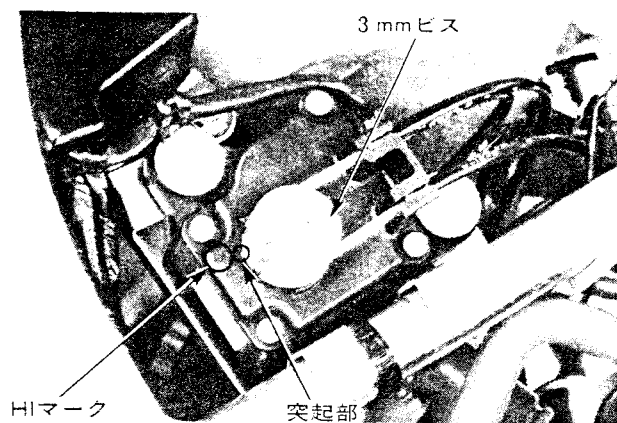


RCバルブ コントロール ケーブルの調整

プーリー調整ビスを取り外す。(→4-2)

エンジンを起動し、約2,000rpmでセーホモータプーリーの突起部が、HIマーク付近になったことを確認してエンジンを停止する。
プーリー調整穴に3mmのビスを取付け、プーリーが動かないように固定する。

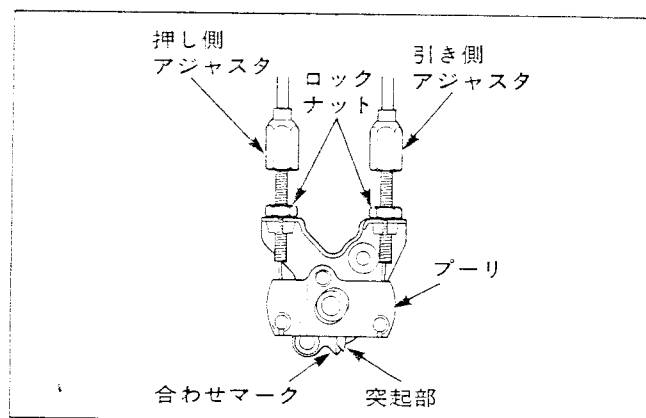


《ケーブル遊びの調整》

プーリーの突起部の左端(Aの部分)とエンジンの合わせマークのセンターが合うように、プーリーを手で押さえる。(イラスト①)

その状態で引き側アジャスタを手で回し、プーリーの突起部(A)がエンジンの合わせマークの右端と一致した所で、(イラスト②) プーリーを押さえていた手を放す。

押し側アジャスタを手で回し、プーリーの突起部の左端(A)とエンジンの合わせマークのセンターが合うようにする。(イラスト③)

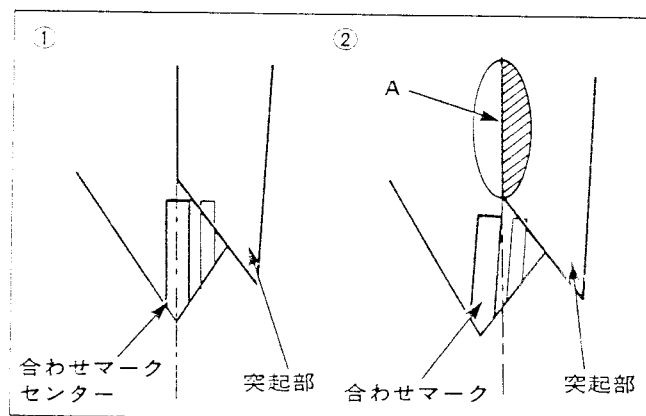


プーリーを手で動かしプーリーのカタが0.5~3.0 mmの間であるか確認する。(イラスト③)

プーリーのカタが0.5mm以下(ケーブルの張り過ぎ)および、3.0 mm以上(ゆるみ過ぎ)であれば上記の方法で再調整する。

《RCバルブの調整》

プーリーをフリー状態にし、突起部の左端(A)と、エンジンの合わせマークのズレを確認する。プーリーのズレは矢印方向に0.4 mm以内にあること。エンジン側の2本の合わせマークの間に突起部の左端(A)があること。(イラスト④)



基準外であれば、再調整する。

基準内であれば、アジャスタを手で固定しながらロックナットを締付ける。

セーホモータプーリーを固定していたビスを取り外す。
プーリー調整ビスを取付ける。(→4-2)

